

学校法人珪山学園 日本聴能言語福祉学院
 専門学校



言語聴覚士



義肢装具士

学校案内 2023



Road to Independence

この道は、「自立」へとつながっている

資格をとるために、医療従事者になるために、進む道はたくさんあります。
わたしたち専門学校日本聴能言語福祉学院は、あなたのためにとおきのスペシャリストへの道を用意しました。
本校の長い歴史のなかで、たくさんの人によりつくりだされてきたこの道は、他では得られない、すばらしい知識・経験・出来事に満ちています。
あなたの将来が輝くものであるために、さあ、一緒に歩き出しましょう。

教育理念・目的・目標

教育の理念

「自立」「健全」を建学の理念とし、豊かな人間性を養うとともに医療専門職に関わる職業人としての高度な専門的知識と技能を修得するとともに社会に貢献できる人材の育成を図る。

教育の目的

本学院は、教育基本法 の精神のもと、学校教育法 に従い言語聴覚士及び義肢装具士に関する専門知識、技術を修得するとともに、一般教養を身につけた人格の形成を図り、言語聴覚士法及び義肢装具士法による言語聴覚士、義肢装具士の育成を図ることを目的とする。

教育の目標

1. 人々の健康に関連する課題に対応するため、科学的根拠に基づいた対応ができる能力を身につける。
2. 人々を身体的・精神的・社会的に統合された存在として理解する能力を身につける。
3. 自他敬愛、協和の精神を培い、社会規範を守り自己の行動に責任を持つことができる人格を身につける。
4. 保健・医療・福祉・その他の職種の役割を理解し、チームの一員として実践する能力を身につける。
5. 高度専門職業人として生涯、自己研鑽する能力を身につける。



専門学校日本聴能言語福祉学院は、
「言語聴覚士」「義肢装具士」を養成する
医療専門学校です。

あなたをプロフェッショナルにする  の3つのポイント



医療機関が
バックアップする
専門学校

鶴飼リハビリテーション病院、
鶴飼病院をはじめとする医療グループ「珪山会」の専門学校です。



高い国家試験
合格率

独自の国家試験対策で毎年高い
合格率をキープしています。



豊富な求人
就職率100%

全国から多くの求人が集まるので
あなたにあった就職先を見つけることができます。

学院長からのメッセージ

みなさんは、医療・介護を支えている職種がどれほどあるかご存知でしょうか。
人口の高齢化、核家族などの社会的要因も加わり、医療と福祉の連携が重要な課題となり、専門職種は多岐多様にわたっています。医療の向上は、医学の進歩、自然科学系・人文科学系の研究、工学系の研究、情報などのあらゆる分野の研究の応用、知見の蓄積により成し遂げることができます。医療の世界では文系・理系にかかわらず様々な専門職が知識・技術の研鑽を積むとともに、チームを組み医療行為を行っています。「チーム医療」の重要性は、核家族の増加や高齢化社会をむかえていることもあり、ますます重要になることでしょう。チーム医療のメンバーとなる人材を育成することは、医療の質の向上、心身の健康の維持、増進と健康寿命の延長を図るうえで重要なことであります。
当学院は、チーム医療の一員となる人材を育成するために、言語聴覚士、義肢装具士の育成を目的に設立された草分け的な学院であり、多くの卒業生が、専門職として全国の施設でめざましい活躍をしています。
在学中に専門職としての知識と技術を習得することはもちろんですが、心豊かな医療人としての教養を身につけることが大切と考えています。志しある若人が、専門職として「チーム医療」を担うメンバーとして自立できるようにお手伝いをしています。



学院長 今川 健司



専門学校 日本聴能言語福祉学院は、
医療機関を母体を持つ医療専門学校です。

医療法人珪山会グループは、一般病床・療養病床を有する「**鶴飼病院**」、全床回復期リハビリテーション病棟の「**鶴飼リハビリテーション病院**」をはじめ、訪問看護ステーションなど多数の医療・福祉施設を有しています。

本学院は、これらの医療機関との連携により、医療現場の第一線で即戦力となる人材を教育しています。

姉妹校である「**中部リハビリテーション専門学校**」、医療法人珪山会「**中部看護専門学校**」とともに、優れた医療従事者の養成に力を注いでいます。

学校関連

中部リハビリテーション専門学校

昭和57(1982)年開校の、理学療法士を養成する専門学校です。3年制の一部(昼間部)と4年制の二部(夜間部)を併設しています。臨床経験豊富な講師による、実践重視の授業を展開し、多くの理学療法士を世に送り出しています。



中部看護専門学校

平成3(1991)年開校の、看護師を養成する専門学校です。3年制の看護学科を設置しています。グループ内での他職種(理学療法士、言語聴覚士、義肢装具士)との連携を重視した教育を実践し、チーム医療についても学ぶことができます。



理事長からのメッセージ

我が国は世界一の長寿国になりました。医学と医療技術の進展で、難しい疾患でも完治したり、生命を維持することが可能な状況になってきました。人々の健康と病気、老齢と障がいに対する関心や、生活水準の改善・向上を願う意識は益々高まりつつあります。健康の維持・増進に対する問題や、疾病と障がい者に対する適切な医療とリハビリテーション、急速な高齢化社会の進展と核家族化による介護の困難性といった社会的問題などに対して、医療・保健・福祉は緊密な連携のもとに、障がい者の社会参加を促す新しい原則、「ノーマライゼーション」の理念に基づいて対応していかなくてはなりません。

日本聴能言語福祉学院は、高齢者や障がい者に自立と社会参加の出来る様に、人間性豊かで総合的な質の高い知識と技術を習得していただき、一人でも多くの卒業生を巣立たせ、地域社会の福祉に貢献することを目的としております。

理事長 鶴飼 敦子

ここがメリット!

他校にはない、幅広い知識が得られます。

珪山会グループ内の関連校からは理学療法士の教員、また鶴飼病院、鶴飼リハビリテーション病院からは現役の言語聴覚士、医師の貴重な講義を受けることができます。

各施設では、施設見学や実習の協力を得ているほか、毎年何名もの卒業生が就職しています。

また、鶴飼リハビリテーション病院は、回復期リハビリに強い病院として、ライフ企画刊「医者がすすめる専門病院東海版」等に取り上げられるなど、高い評価を得ている病院です。

医療機関関連

鶴飼病院



昭和35年名古屋市中村区に開業した、珪山会グループの出発点でもある病院です。以来今日まで、地域の皆様に愛され、親しまれる病院として、医療・リハビリテーションを提供しています。

大門訪問看護ステーション



地域の皆様が安心・安全に暮らせるよう、看護師・リハビリスタッフが自宅を訪問して、看護・リハビリを提供します。

通所リハ ウカイ



ご自宅で生活されている方に通っていただき、リハビリテーションに特化した専門的なサービスを提供します。

鶴飼リハビリテーション病院

100名を超えるリハビリスタッフで、充実した回復期リハビリテーションを提供する、全国でも有数のリハビリ専門病院です。



言語聴覚士 Speech-Language-Hearing Therapist

「ことば」と「聞こえ」をサポートし、
コミュニケーションの力を引き出す。



OG VOICE

私は、大学在学中に発達障害の子どもたちを支援するボランティア活動に参加していました。どのように接していいか困っていた私に、何度もアドバイスをくれたのが言語聴覚士の先生であり、その仕事に興味が湧いてきました。

実績はもちろんのこと、オープンキャンパスで先生や先輩在校生の真剣なまなざしを見て、学院への入学を決めました。入学後は、普段何気なくしている「話すこと、食べること」がいかに複雑で精巧な仕組みでできているのか、驚き感動しながら勉強に励みました。

現在はリハビリテーション科に所属し、主に入院患者さんの嚥下障害、言語障害、その他高次脳機能障害に対する評価・訓練を行っています。症状の出方や重症度も一人ひとり異なるのですが、患者様がこれまで歩んでこられた人生、これから歩む人生も一人ひとり異なり、いつもその患者様オーダーメイドの臨床が求められます。常に頭はフル回転でプレッシャーも大きいですが、人間の生活の基本である食べること、話すことの回復に立ち会い、わずかな変化を共に喜び感謝されるととても素敵な仕事です。

人と関わるのが好きで他人の喜びを自分の喜びに感じる方、困難があっても柔軟な発想で工夫ができる方、びったりな言語聴覚士という仕事があります。ぜひ、一歩踏み出してみてください。あなたを待っている人が、たくさんいます。

水野 聡美さん (聴能言語学科 25期生)
独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 勤務



言語聴覚士の主な仕事

失語症・構音障害の訓練・指導

ことばが思うように話せない障害を持つ方に対し、検査や訓練、指導を行います。唇や舌を動かす検査、良い声を出す練習、言葉を思い出す練習等一人ひとりの症状にあわせて援助します。

発達障害の訓練・指導

ことばの発達やコミュニケーションの力を促すように、指導、訓練を行います。興味を持って取り組んでもらえるよう、子どもの状態に合わせて様々な工夫が必要です。

嚥下障害の訓練・指導

実際の食事場面で、食べ物の飲み込みの訓練をしたり、ご家族に対して、食事内容や介助方法のアドバイスを行います。

聴覚障害の訓練・指導

聴覚検査を行ったり、補聴器装用のアドバイスを行ったりします。また、人工内耳の手術後に聞こえをサポートする訓練も行ないます。

話すこと、聞くこと、食べることに関する障害をサポートしています。

言語聴覚士の仕事の流れ



言語聴覚士の仕事の場所





義肢装具士

Prosthetist and Orthotist

技術のその先へ、
ひとりひとり違う使いごこちをデザインする。



OG VOICE

私は小さな頃から絵を描くことや、モノづくり、そして人とお話することが大好きでした。高校時代、自分の好きなことを生かせる仕事に就きたい、と進路について考えているときに、担任の先生から義肢装具士について紹介していただいたことが、この仕事を知るきっかけでした。興味を持って調べうちに、モノづくりとコミュニケーションが求められる仕事だということを知り、私の特技や好きなことを通して人の役に立つことができる、と思い義肢装具士を目指しました。

私たちの仕事は、義肢装具の採型から製作、適合を通して一人ひとりに合わせたオーダーメイドの製品を提供することです。良い製品を提供するために、高い技術が求められるのはもちろんですが、それ以上に義肢装具を必要とする方々に信頼していただき、お話を通してしっかりとニーズを把握することがとても重要だと思います。大変な仕事ですが、実際に義肢装具を装着していただいたときの、「楽になったよ、ありがとう」という言葉がとても嬉しいです。「次はもっと喜んでいただけるように、もっと良いモノを作ろう!」というやりがいにも繋がっています。

義肢装具士はコミュニケーションを通し、気持ちのこもったモノづくりでリハビリテーションをサポートする、とても素敵な仕事だと思います。

専門学校日本聴能言語福祉学院は、義肢装具士養成校の中でも長い歴史を持ち、多くの先輩方が全国の義肢装具製作施設で活躍しています。このことは就職を考えるうえで、とても心強いと思いました。

眞木 彩帆さん (第26期生)

株式会社松本義肢製作所 勤務



義肢装具士の現場より

義肢装具士が生み出すものは決して義肢装具だけではない

狭義の義肢装具士の役割は、リハビリテーション医療を進めるうえで必要な義肢装具を提供することが、私たちのメインの仕事になります。しかし、昨今ではリハビリテーション医療の幅が広がっており、その中において義肢装具士の役割は、いわゆる義肢装具という製品の提供だけでは済まないのが現実です。義肢装具士という資格は、医療職でありながら工学的なバックグラウンドを持ち、そのうえでモノづくりができることから、身体と機械の接点、いわゆるマン・マシン・インターフェイスの“適合”が一番得意としています。つまり、その能力や知識をリハビリテーション医療の中で活かすことが、広義の義肢装具士の役割であると考えます。

義肢装具士という国家資格の裏付けとして、モノづくりができる、適合技術があるということは重要な要素だと思います。その義肢装具士が生み出すものは決して義肢装具だけではなく、さまざまな知識を提供することも大きな役割ではないでしょうか。

“相手が欲している製品”こそが“良い製品”

義肢装具学科の学生たちには、人間性が豊かで、社会性を兼ね備えた人になって欲しいと思います。専門性というのは、社会性の上に成り立つものだと私は考えていますので、専門性だけがあっても、チーム医療の一員として配置することは難しいと思います。義肢装具を媒体として満足を提供するのが義肢装具士の仕事ですから、良い製品を提供することを前提としていることは間違いありません。しかし、その“良い製品”という共通の定義は、義肢装具には存在していないと思います。例えば、高機能な義肢装具が必ずしも良い製品とは限らず、“相手が欲している製品”こそが、良い製品だと言えるのではないのでしょうか。そのためには、義肢装具を必要とする方々のニーズ、ご家族のニーズ、そして医療者のニーズと、様々なニーズを正確に受け止め、これを具体的に製品として提供し、さらにユーザーの反応を客観的に評価することが重要です。これらの一連の作業は専門性だけで成立するものではなく、まずはその土台となる人間性が基本的なところで成り立っていなければいけないことだと思います。

当社でも日本聴能言語福祉学院の卒業生が大勢活躍していますが、人間性が豊かで規律正しく、自ら考えて行動に移せるという点が、人材として非常に魅力的だと感じています。



株式会社 松本義肢製作所

代表取締役 松本 芳樹

義肢 Prosthesis とは

病気やケガにより手足を失った場合に用いられる人工の手足のことを義肢といいますが、さらに義肢のなかには、上肢の切断に用いられる義手と、下肢の切断に用いられる義足があります。どちらも生体と義肢とのインターフェイスとなるソケットと呼ばれる部分の適合が重要であり、切断者の身体的条件や切断端の状況によって製作される義肢の種類もさまざまです。義肢装具士はこれらの製作理論を理解した上で、義肢の製作、適合を行い、それぞれの義肢使用者の生活の場面に合った調整を行います。



装具 Orthosis とは

病気などにより身体の機能が低下した場合に、治療の目的のために体表に装着する器具を装具といいますが、装具装着にはさまざまな目的があり、具体的には患部の固定や矯正、変形の予防、体重支持などがあります。また、病気の治療が終了しても、麻痺や変形が身体に残ってしまうことがあり、日常生活の向上のために継続的に装具を使用する場合があります。義肢装具士は医学的に患者の病態を理解し、医師の治療方針に沿って装具の製作、適合を行います。義肢装具士がチーム医療の一員として、最も活躍が期待されている領域と言えます。





充実の対策で 国家試験合格をサポート

言語聴覚士の国家試験は2月中旬、義肢装具士の国家試験は2月下旬に実施されます。各学科の試験対策を紹介します。

国家試験合格率(過去5年実績)

本学院では、長年国家試験と向き合い、積み上げてきた合格のノウハウを基に、各学科がそれぞれの特色を生かした国家試験対策を実施しています。毎年、高い合格率を維持。全国平均を大きく上回る実績を残しています。

聴能言語学科

国家試験合格率

5年平均 **94.1%**

年度	本学院(新卒)	全国
2017年度	92.3	79.3
2018年度	100	68.9
2019年度	85.7	65.4
2020年度	92.3	69.4
2021年度	100	75.0

独自の国家試験対策による、高い国家試験合格率

聴能言語学科では、長い養成の歴史の中で培った独自の国家試験対策を展開することで、全国でも有数の高い国家試験合格率を誇っています。クラス全体での取り組みで勉強への意欲を保ちながら、必要に応じて教員の個別指導も実施することで、学生一人ひとりの能力に合わせた指導を実施しています。

補聴言語学科

国家試験合格率

5年平均 **84.1%**

年度	本学院(新卒)	全国
2017年度	87.5	79.3
2018年度	89.5	68.9
2019年度	80.9	65.4
2020年度	73.6	69.4
2021年度	88.9	75.0

各自の力に合わせたマンツーマン指導の国家試験対策

国家試験対策においても、一人ひとりの力に合わせたマンツーマン指導を徹底しています。過去の実績をもとに作り上げた独自の方法は、まさに伝統校だからこそ得られるノウハウです。また、万が一合格できなかった場合には翌年も継続して指導します。もちろん指導料は必要ありません。

義肢装具学科

国家試験合格率

5年平均 **94.6%**

年度	本学院(新卒)	全国
2017年度	100	85.3
2018年度	92.9	89.4
2019年度	90.0	78.8
2020年度	100	72.7
2021年度	90.0	68.5

長い時間をかけて培った国家試験合格のノウハウ

毎年全国屈指の高い合格率をキープ。長い時間をかけて培ってきた「国家試験合格のノウハウ」があり、姉妹校の専任教員から直接講義を受けることができるため、リハビリテーション医療の中で義肢装具が果たすべき役割を総合的に学習することができます。実際の医療現場にすぐに対応できる技術と、国家試験に合格するためのカリキュラムがしっかりと組まれているため、確実に資格取得の実力を身につけることができます。

学生を導く合格プログラム

聴能言語学科

個別学習・グループ学習の組み合わせで知識の定着を図る



1年次

夏季休暇や冬季休暇に各科目の基本的問題を網羅した**オリジナル問題集**を配布します。問題集は科目ごとの学習進度に合わせて作成してありますので、長期休暇を有効活用し少しずつ復習することができます。この復習が知識の定着を図り、これが2年次の国家試験対策にも役立つのです。

2年次 6月~11月末まで

まずオリエンテーションで国家試験対策の進め方をレクチャー。クラス単位で実施する**国家試験対策講座**と各自の試験勉強の計画を立てて教員の指導を受けます。その後、臨床実習以外の期間を利用して、国家試験対策講座用としてグループごとに過去問題の解説・用語集を作成したり、各自で1年次の「問題集」も利用しつつ**科目ごとのノート作成**も並行して行います。

11月末~12月中旬

クラスでの**国家試験対策講座**がスタートします。クラス全員で分担した過去問題の解説を、じっくり意見交換しながら勉強します。重要事項の覚え方や語呂合わせなどの提案もあります。クラスみんなで協力しあうから「全員で合格しよう!」という気持ちも高まります。

年末~2月(国家試験直前まで)

先にたてた各自のスケジュールに沿って、**過去問題解きとノート作成**を進めます。定期的に行われる**模擬試験**で自分の弱点をチェックし、効率の良い学習が進められます。

* 2年生の6月以降は模擬試験の結果もふまえ、必要に応じて教員による個別指導も継続して行います。

補聴言語学科

各学生の習熟度に応じたマンツーマン指導



3年次 4月上旬

まずは力試しの**模擬試験**です。自分の力を見定めて、これからの勉強のスケジュールをたてます。



4月~10月

解剖学・生理学などの基礎科目をしっかり復習します。実習前には、言語聴覚障害の専門科目を重点的に復習し、整理していきます。**出題基準に沿ったノート作り**も行いますので、自分の弱点も良くなります。

11月~1月

3週間ごとに「**学内模擬試験**」を実施し、実力を確認しながら進めます。科目ごと的小テストや**担当教員の口頭試問**を通して理解を深めていきます。また、過去の問題を紐解きながら、重要なキーワードを確認していきます。

2月から試験当日

過去の問題を復習し、**グループでの口頭試問**を行います。お互いに刺激しあい、励ましあって、体調を整えながら本番に備えます。



義肢装具学科

様々な方法で合格への力を身に付ける



3年次 4月~年内

過去問題を中心にカテゴリ分けした、「**まとめノート**」を作成。数人のグループごとに担当問題を割り振り、毎回の解説をプレゼンしていく学習を繰り返していきます。国家試験の分野ごとの出題傾向をつかみ、まとめられたノートは後の学習にも役立つこととなります。

年末

11月には「**学内模擬試験**」を定期的に行います。グループ学習による成果や弱点を確認するとともに、苦手な分野を明確にし、冬休み中に時間をかけて克服できるように対策を繰り返します。

年末から2月中旬

グループごとに練習問題と解説を作成し、**解説のプレゼン**をします。これを続けることによって、「出題者が何を出題のポイントにしているのか」といった意図が探れるようになってきます。問題を作るという作業の学習効果により、重要なキーワードに気がつくため、この時期からの復習にも最適です。

2月中旬から試験当日

これまでに学習した実力を、本番でしっかり出せるように復習を中心に行います。



就職内定率100%

本学院を巣立った多くの卒業生は、東海地方はもちろん、全国の病院、リハビリテーションセンター、関連施設に就職しています。さらに、培った知識をより深めるために、大学や大学院へ進学をする者、また JICA の青年海外協力隊や NGO の職員として活躍している者もいます。当学院は全国の病院・施設から高い評価を受けており、寄せられる求人件数は毎年増加を続けています。

毎年およそ聴能言語学科・補聴言語学科が 650 件、義肢装具学科は 150 件の求人の件数がきております。求人員数は、聴能言語学科・補聴言語学科が 1300 名、義肢装具学科は 300 名にのぼります。

豊富な求人 就職率100%



近畿

聴能言語学科、補聴言語学科 6.6 %
義肢装具学科 15.9 %

高町 侑里さん

兵庫県立リハビリテーション中央病院 勤務



北陸・甲信越

聴能言語学科、補聴言語学科 7.1 %
義肢装具学科 6.3 %

佐藤 匠さん

飯田市立病院 勤務



北海道・東北

聴能言語学科、補聴言語学科 1.1 %
義肢装具学科 1.9 %

藤田 祐実さん

株式会社佐々木義肢製作所 秋田支店 勤務



石井 由起さん

川口市立医療センター 勤務

関東

聴能言語学科、補聴言語学科 10.0 %
義肢装具学科 14.0 %



東海

聴能言語学科、補聴言語学科 68.7 %
義肢装具学科 51.2 %

今枝 小百合さん

藤田医科大学病院 勤務



九州・沖縄

聴能言語学科、補聴言語学科 2.6 %
義肢装具学科 2.8 %

渡久地 政樹さん

有限会社砂田義肢製作所 勤務



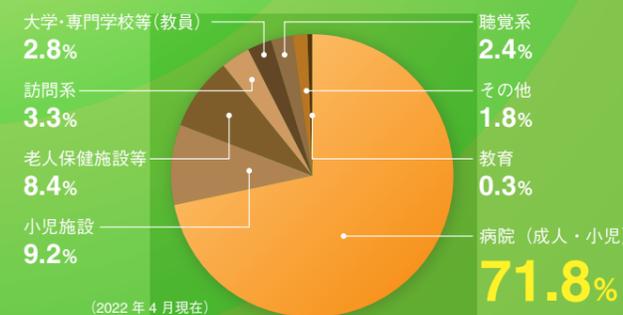
中国・四国

聴能言語学科、補聴言語学科 3.8 %
義肢装具学科 6.6 %

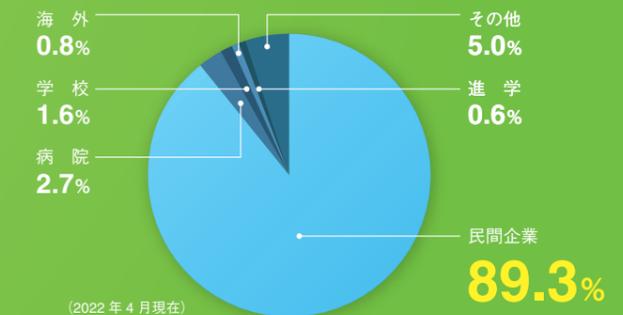
福山 友登さん

株式会社かなへ義肢製作所 高知支店 勤務

聴能言語学科、補聴言語学科卒業生の就職先



義肢装具学科卒業生の就職先



全国から寄せられる豊富な求人

高度な専門知識、スキルを身につけた本学院卒業生に対する高い評価により、毎年、全国から多くの求人が寄せられ、学生の希望通りの採用につながっています。

また、就職ガイダンスの実施や、企業の採用担当者を招いて企業説明会を行うなど、就職活動に対する疑問の解決や、就職先の選び方のポイントが理解でき、より円滑な就職活動を行うことができます。

国家資格を取得しても就職がない、という職種もある中、言語聴覚士へのニーズは年々高まっており、求人件数はとても多いです。特に本学院では、30年以上にわたり輩出している全国各地の多くの卒業生との幅広いネットワーク、さらに国家試験合格率の高さなどの実績から、是非とも本学院の学生を紹介してほしいとの声も多いです。このように、多くの求人先から高い信頼を得ており、必ずや言語聴覚士として働く夢は叶います！

本学院の卒業生は、現在までに 657 名(2021 年 4 月現在)が東海地方はもちろん、全国各地で義肢装具士として活躍しています。その約 90% が全国の義肢装具製作会社に就職しています。この他は、病院やリハビリテーションセンター、義肢装具パーツメーカー、教育機関、さらに本学院で培った知識をより深めるために大学や大学院に進学をする者、青年海外協力隊員や NGO のスタッフとして国際的にも活躍しています。



聴能言語学科

Department of Audiology and Logopedics I

専門士（医療専門二年課程）

4年制大学以上卒業生対象 | 定員30名

日本で最初の大卒2年課程 言語聴覚士教育をリードしてきた実績

4年制大学卒業後に言語聴覚士を目指す方のための2年課程の学科です。

1985年のスタート以来、約800名以上の言語聴覚士を世に送り出してきました。

知識、技術、豊かな心を兼ね備えた言語聴覚士を育てることを教育理念としています。



心・知識・技術を兼ね備えた人材を育成

聴能言語学科は、より専門性の高い教育を提供するために日本で初めての言語聴覚士の4年制大学卒業生対象の2年課程としてスタートしました。当時からの目標は「現場の即戦力として患者様を支えられる本当の実力を持った言語聴覚士を育成すること」、さらに「経験を積み、臨床はもちろん、研究、教育などの様々な言語聴覚士領域のリーダーとなる人材を輩出すること」です。国家試験合格は通過地点の1つに過ぎず、私たちはその先を見据えています。

目の前にいる患者様とご家族を支えたいという心、そしてそれを実現するための確かな知識と技術、これらを兼ね備えた誰からも信頼される言語聴覚士を育てる、それが聴能言語学科の理念です。



資格取得までのプロセス



“気持ち”だけ持ってきて下さい。 そこからがスタートです。

前に勤めていた病院で、母校の教員になることが決まったことを60代のいつも明るい担当患者様に報告したら「良い学生さんを育てて、自分のような人たちを救ってな」と泣きながら不自由なことばで言われたことが今も忘れられません。単純に別れを惜しむのではない、人生の先輩の言葉に深く感動しました。そして、その約束を絶対に守ろうという想いが、今も変わらず私の学生教育に対する情熱の源になっています。私が現場で一番嬉しかった言葉…「先生に会えてよかった」と患者様に言ってもらえるような言語聴覚士を育てたいと思っています。“気持ち”だけ持ってきてください。スタートはそこからです。

聴能言語学科 教務主任 土屋 美智子 先生



学科の特色

聴能言語学科は、全国に言語聴覚士が数えるほどしかいなかった時代に開設した当初、教員も学生も「これからの言語聴覚士領域の発展を自分達が担う」という気概にあふれていました。

それは時代が変わってもなお引き継がれています。

長い伝統に甘んじることなく、教育の質を高めるための挑戦を続け、全国屈指の高い国家試験合格率、就職率を達成し続けています。また、卒業生 1 人ひとりの活躍により、臨床現場からの厚い信頼が得られています。

教員のきめ細かなサポートと全国に広がった卒業生たちのネットワークが、あなたを強力にバックアップします。



日本で最初の大卒2年 言語聴覚士養成コース

聴能言語学科は、1985年に、日本で最初の大卒2年言語聴覚士養成コースとして誕生しました。卒業生はすでに35期を数え、全国の病院などで活躍しています。また、臨床機関だけでなく、研究施設、言語聴覚士養成校の教員としても活躍しています。



少人数による効果的な教育と 学びやすい雰囲気

40人定員の養成校が多い中、本学院では、30人定員としています。そのため、学生一人ひとりに教員の目が行き届き、きめ細かい指導が可能です。少人数ですので、講義や演習にも集中できます。学生は新卒者から長い社会人経験を経た人まで、年齢やバックグラウンドは様々ですが、「言語聴覚士になりたい」という思いは皆同じで、打ち解けるのに時間はかかりません。

共通の夢に向かって、強い絆で結ばれています。



自ら「考える」ことに 重点を置いたカリキュラム

聴能言語学科では知識や技術の習得はもちろん、自ら考えることに重点を置き、グループでのディスカッションや演習に力を入れています。内部教員からの的確なアドバイスを受けながら、お互いに切磋琢磨し、学びあっていくことができるので、将来の大きな力にもなり、生涯にわたり学んでいく基盤を作っていきます。



ST界をリードする 高名な先生方による充実した講義内容

聴能言語学科では、言語聴覚士なら知らない人はいない、という高名な先生方を外来講師としてお招きしており、より専門的で充実した講義を受けることができます。特に、言語聴覚領域の大先輩でもある先生方の講義を受けると、臨床への意欲や将来の目標もより一層強くなっていきます。



柴田 貞雄 先生 (医師) 国立障害者リハビリテーションセンター学院 元院長

卒業生とのつながりで、 卒後も安心

本学院の卒業生は、全国各地で多数活躍しています。どの地域に就職しても近くに先輩がいることは確実です。また卒業後の就職先にも先輩である卒業生がいることも多く、安心して経験を積むことができます。

また、本学院には、「若宮 ST 同窓会」という会があります。この同窓会でも、卒業生をサポートするための活動

(講演会の開催や再就職の斡旋など)を行っており、卒業後のスキルアップのお手伝いをします。



<http://wakamiya-st.jellybean.jp/>

教員と学生の「キョリ」が近い、 学びやすい雰囲気

教員は、すべて本学院の卒業生で、「後輩を育てよう」という想いで、日々、熱意を持って教育にあたっています。勉強でわからないことを質問したり、勉強以外のことも相談したり、教員でもあり先輩でもある、そんな存在の教員との「キョリ」が近くて学びやすい。これも本学院の特徴といえます。



科目紹介

言語聴覚障害診断学・臨床演習



患者さん
ひとりひとりに
寄り添う姿勢を
学ぶ

私たちが
お伝えします!!

授業内容

言語聴覚士が実際に臨床現場で行う手順通りに1ステップずつ演習を行います。患者様のデータを基に学生同士で意見を出し合い、検査実施や評価報告書の作成、訓練計画の立案などを行っています。毎回教員の指導を受け理解や技術を深めます。臨床に最も近い講義だから厚生労働省規定の3倍もの時間（180時間）をかけ丁寧におすすめです。

CLASS I

約10分間の患者様の映像を見て、診断した結果を報告書にまとめます。教員の指導を受けながらレポートを修正し、合格を目指します。



CLASS II

「スクリーニング」という患者様の障害の有無を見極める検査の演習をします。



CLASS III

CTやMRIなどの脳の画像を見て病巣の確認ができるようになります。



CLASS IV

最終的に評価報告書を作成し、患者様に合った適切な訓練プログラムを立案します。



Student's
VOICE



話し合うことで自分とは違う意見を聞き、理解を深めることができます。

言語聴覚障害診断学・臨床演習では、まず画像診断や観察ポイントの講義を受けます。その後、グループに分かれて、検査演習や、実際の患者様の映像を見て、障害や予後評価の演習を行います。評価をまとめる際には、グループのメンバーそれぞれが授業の資料や教科書を使いながら、自分の持っている知識を総動員して意見を出し合います。クラスメイトは年齢層が幅広く、様々な経歴を持っているので、自分とは違う視点の意見を聞くことができます。

グループで話し合ったら、担当の先生にフィードバックしていただけます。先生のフィードバックはとても丁寧でわかりやすいので、より一層理解が深まります。授業で文字として学んだことが映像でイメージできるようにもなります。

この経験は実習でとても役に立ちました。わからないことがあったとき、すぐに調べる癖をつけておくと、将来現場に出てとても役に立つと思います。

松原 萌衣さん 愛知教育大学 卒

カリキュラム

実際の臨床に直結する専門分野の講義を充実させています。下記カリキュラムの他に、見学実習、学内実習、文献抄読会、症例報告会など、実践力をつける「学ぶ工夫」が豊富です。



		1年次	2年次	
基礎分野	自然科学		統計学	
	基礎医学	医学総論 解剖学 生理学 病理学		
専門基礎分野	臨床医学	内科学 小児科学 精神医学 リハビリテーション医学 耳鼻咽喉科学 臨床神経学 脳神経外科学 形成外科学		
	臨床歯科医学	臨床歯科医学、口腔外科学		
	音声、言語、聴覚医学	呼吸発声発語系の構造、機能、病態 聴覚系の構造、機能、病態 神経系の構造、機能、病態		
	心理学	臨床心理学 生涯発達心理学 学習、認知心理学 心理測定法		
	言語学	言語学 言語心理学		
	音声学	音声学		
	音響学	音響学 聴覚心理学		
	言語発達学	言語発達学		
	社会福祉、教育	社会保障制度 リハビリテーション概論	関係法規	
	専門分野	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害概論 言語聴覚障害診断学	言語聴覚障害臨床演習 言語聴覚障害診断学
失語、高次脳機能障害学		失語症Ⅰ 失語症Ⅱ（演習） 高次脳機能障害	失語症Ⅲ	
言語発達障害学		言語発達障害Ⅰ 言語発達障害Ⅱ	言語発達障害Ⅲ（演習）	
発声発語、嚥下障害学			音声障害 器質性構音障害	
		機能性構音障害 運動障害性構音障害Ⅰ 運動障害性構音障害Ⅱ（演習） 嚥下障害 吃音		
聴覚障害学			聴覚障害Ⅰ 聴覚障害Ⅱ	聴覚障害Ⅲ
				臨床実習 聴覚検査実習
臨床実習				

在校生、OB、OGのコメントが読めるホームページはこちら



パソコンからは で

スマートフォンからは QRコードを読み取り





専門士（医療専門三年課程）

高等学校以上卒業生対象 | 定員30名

高校卒業後に言語聴覚士になる最短コース 母体が病院だからこそ可能な実践力育成教育

母体病院との連携のもと、現場に必要な実践力をつけるためのカリキュラムが充実。
人を支えられるのは、人です。早くから現場経験を積むことで患者様をより深く知り、
社会で必要とされる、人に寄り添うことのできる言語聴覚士を育てます。



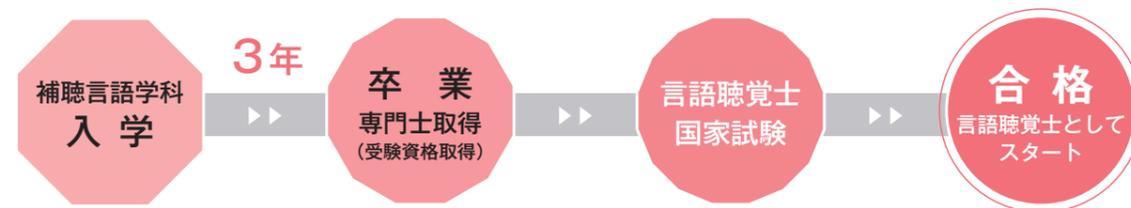
一人ひとりの可能性を最大限に引き出す

補聴言語学科では、それぞれの個性や力に合わせた指導を第一にしています。学習や実習につまずいた時や国家試験の時など、一人ひとりに寄り添いながら丁寧な指導を実施しています。また一人ひとりの「可能性」を最大限に引き出せるよう、学内教育と実習をリンクさせています。実際の臨床の流れに沿った段階的な実習になっており、卒業後すぐに活躍していけるような実践力の育成に力を注いでいます。

高卒新卒者をはじめとし、短大卒・社会人経験者など様々な経歴の方が集まっています。同じ目標を持った仲間たちが、お互いに協力し切磋琢磨しながら成長できる環境になっています。充実した3年間を過ごすことで、社会人として医療人として現場で活躍できる人材になっていきます。



資格取得までのプロセス



学生と教員の距離の近さ、 それが3年間の学びを支えます。

補聴言語学科は、既に開設されていた聴能言語学科（大卒2年コース）に続いて、1992年に東海地方では初となる高校卒業後の3年課程の学科として設置されました。これまで大切にしてきたのは専門学校だからこそできる「学生と教員の距離の近さ」。学生一人ひとりの可能性を引き出すため、学内での演習をはじめ、実習、国家試験勉強、就職活動などには担当の教員がつき、個別にサポートいたします。さらに、母体の医療機関との連携にも力を入れています。1年次から医療現場を見学し患者様と触れ合える、この経験はその後の学びの意欲を高められることはもちろん、患者様を、教科書の中ではなく目の前の「人」として理解する力をつけることができると考えています。私たちの目標は、卒業後に言語聴覚士として専門性を発揮することはもちろん、患者様を一人の「人」として捉え、寄り添うことができる、そんな信頼される言語聴覚士の育成です。3年間の学びを楽しみ、言語聴覚士になるという夢を一緒に叶えましょう。

補聴言語学科 教務主任 坂下 亜希子 先生



学科の特色

補聴言語学科は、高校や短大・大学を卒業後に言語聴覚士を目指す方のための3年課程の学科です。卒業すると言語聴覚士国家試験の受験資格と専門士の称号が得られます。

高校卒業後の課程としては最速コース！専門性をじっくり学びながらも早く資格を取得したい方に最適です。また大学よりも安い学費で学ぶことができるのも特徴です。そこには、まだまだ言語聴覚士が全国にわずかしか存在しなかった30数年前、その必要性に真っ先に目を向けて本学院を設立した、先代理事長の思いが込められています。学費をおさえながら、伝統校ならではのノウハウで言語聴覚士として必要な知識や技術を身につけていくことができます。



社会人経験者も多い、 3年課程の 言語聴覚士養成コース

補聴言語学科は1992年に開設されました。高校新卒者をはじめ、在学生の3割が短大卒や大卒、社会人経験者とさまざまな経歴の方が集まり、お互いに刺激を受けながら積極的に、じっくり学べるのが特徴です。また、履修期間は3年で、高校卒業後に言語聴覚士になるための最短コースです。

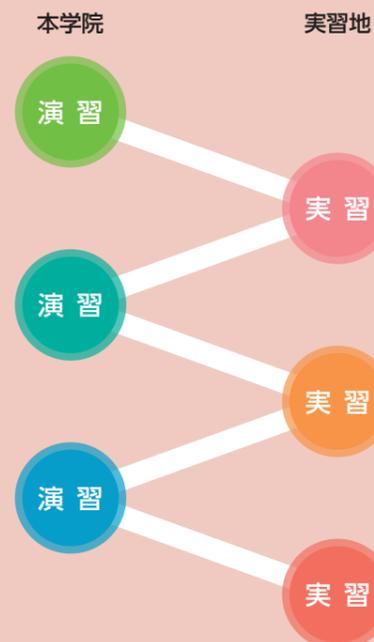
一人ひとりを大切にする、 丁寧なサポート体制

初めて学ぶ分野の講義も多く、自分1人ではなかなか前に進めないこともあります。補聴言語学科では一人ひとりの個性に合わせ、学生生活や勉強のこと、さらに就職活動や国試勉強においても、教員が個別に担当いたします。一人ひとりの個性にあった丁寧なサポート体制が自慢です。



学内の演習とリンクした段階的な実習で、 着実に力がつきます

補聴言語学科では、実習を学内の演習とリンクさせて段階的に実施しています。観察→評価→訓練へと、一歩ずつ臨床の流れを体得し、着実に実践力を養っていきます。



医療法人珪山会 鵜飼リハビリテーション病院見学

補聴言語学科では1年次に、本校の母体である鵜飼リハビリテーション病院での基礎実習を行っています。言語聴覚療法の臨床のイメージを大まかに掴むために、新しい白衣を着て実際に病院で行われている言語訓練を見学し、実際に患者様との会話もさせていただきます。

同病院は多くの医療専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした回復期リハビリテーション病棟です。理学療法および作業療法やカンファレンスも見学し、リハビリテーションはチーム医療であることも体感できます。

学生は、実際に働く先輩言語聴覚士と患者さんが和やかな雰囲気でお話をする様子などから、言語聴覚士になりたい気持ちを大きくしています。





科目紹介

嚥下障害



患者さんの
小さな変化を
見逃さない

科目紹介

「嚥下障害」とは、脳の病気や、がんなどによって、「食べる」ことや「飲む」ことがうまくできなくなる障害です。私たちが生きていくために必要な栄養や水分が摂れなくなることはもちろん、肺炎の原因になり命に関わることもあります。また、食べる楽しみを失うということは、患者様にとってとても大きな問題です。そのような患者様が再び安全に食べられるように支援するための、評価・訓練の方法を学びます。

CLASS I

「ごっくん」するときに喉がどう動くのか、まずは模型を使って、口や喉のしくみを学びます。



CLASS II

実際に口の中や喉の動きを確認し、どこに問題があるのかを見極める検査の練習をしています。



CLASS III

飲み込みの機能の検査を練習しています。聴診器を使って飲み込みの音を聞き、正しく飲み込めない状態である「誤嚥」の兆候をキャッチします。



CLASS IV

しっかりと口を動かしたり、喉の力を強くしたりするための訓練の方法を練習しています。



Student's
VOICE

同じ目標を持つクラスメイトと励まし合いながら頑張る日々は、充実しています。

私はもともと話すことが好きでした。高校生の時に言語聴覚士という仕事があることを知り、患者様にも一度話す喜びを知ってもらいたいと思い、目指すようになりました。

講義は想像以上に難しく、内容が濃いため予習復習が欠かせないので、分からないことがあるといつも教員室に行って質問するのですが、親身に教えてくださるため理解することができています。また、講義では、専門知識はもちろん医療従事者としてどのような姿であるべきか、などの基本的なことについても教えていただけるため、毎時間の講義で多くの知識を身につけることができていると実感しています。

クラスメイトには、私のように新卒の学生もいれば年上の人もあります。でも、全員が「言語聴覚士になる」という同じ目標を持ち、お互いに励まし合い、教え合いながらの毎日で、高校時代とは違う充実感に溢れています。まだまだこれから学ぶことはたくさんありますが、将来、患者様に寄り添い、信頼してもらえる言語聴覚士になるために、日々勉強に励みたいと思っています。

今井那菜さん 岐阜県立各務原高等学校 卒



カリキュラム

実際の臨床に直結する専門分野の講義を充実させています。下記カリキュラムの他に、見学実習、学内実習、小児観察演習、文献抄読会、症例報告会など、実践力をつける「学ぶ工夫」が豊富です。



		1年次	2年次	3年次
基礎分野	人文科学	書道 声楽		
	社会科学	心理学概論 コミュニケーション概論		
	自然科学	内分泌学 生物学 統計学		
	外国語	外国語 I	外国語 II	
	保健体育			保健体育
専門基礎分野	基礎医学	医学総論 解剖学 生理学 病理学		
	臨床医学	耳鼻咽喉科学	内科学 小児科学 精神医学 リハビリテーション医学 臨床神経学 脳神経外科学 形成外科学	
	臨床歯科医学		臨床歯科医学、口腔外科学	
	音声、言語、聴覚医学	呼吸発声発語系の構造、機能、病態 聴覚系の構造、機能、病態 神経系の構造、機能、病態		
	心理学	臨床心理学 生涯発達心理学 学習・認知心理学	心理測定法	
	言語学	言語学 言語心理学		
	音声学	音声学		
	音響学	音響学 聴覚心理学		
	言語発達学	言語発達学		
	社会福祉、教育	社会保障制度 リハビリテーション概論		関係法規
専門分野	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害概論	言語聴覚障害診断学 言語聴覚障害臨床演習	
	失語、高次脳機能障害学	失語症 I	失語症 II (演習) 高次脳機能障害	失語症 III
	言語発達障害学		言語発達障害 I 言語発達障害 II	言語発達障害 III (演習)
	発声発語、嚥下障害学		音声障害 機能性構音障害 器質性構音障害 運動障害性構音障害 I 運動障害性構音障害 II (演習) 嚥下障害 I 嚥下障害 II 吃音	
	聴覚障害学		聴覚障害 I 聴覚障害 II (演習)	聴覚障害 III
	臨床実習		評価実習	臨床実習 聴覚検査実習
	選択必修	一般臨床医学 解剖学 電子工学	イヤモデル・補聴器適合 言語聴覚障害臨床演習	

在校生、OB、OG のコメントが読めるホームページはこちら



パソコンからは で

スマートフォンからは QR コードを読み取り





義肢装具学科

Department of Prosthetics and Orthotics

専門士（医療専門三年課程）

高等学校以上卒業生対象 | 定員30名



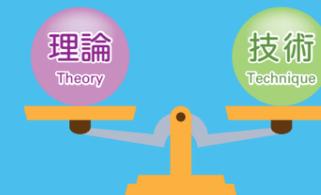
私学第一校目の伝統と実績 義肢装具士としての“人間力”を身につける3年間

義肢装具を製作して適合させる技能は、在学中だけで身につけられるものではありません。3年間の学校生活を通して学生の皆さんに習得して欲しいのは、小手先のテクニックより“モノづくりの想いをカタチにする喜び”であり、“使用者の自立を支援する義肢装具とは何か”を探求する気持ち、使用者一人ひとりの言葉にならない想いを「感じる力」を養うことなのです。

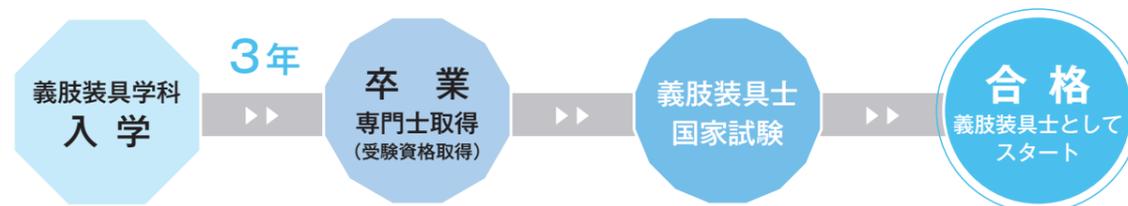


知識と技術のバランスを重要視した実践教育

義肢装具学科は、国内における義肢装具士教育の先駆けとして、1987年に私学では初めて設立された義肢装具士養成校です。本学科では「正しい知識と技術を兼ね備え、即戦力となる義肢装具士を育成すること」を教育理念に掲げています。つまりこれは理論重視の教育ではなく、座学で学んだ知識を具体的に実践し経験することで、個々の技術習得につなげていくという専門学校ならではの実践教育に基づいています。また臨床現場でチーム医療の一員として活躍する人材を育成するため、多職種連携教育（IPE: Interprofessional Education）を積極的に導入し、義肢装具士が果たすべき役割を双方向的に学習する機会を設けています。3年間という限られた時間のなかで国家資格取得は大きな目標ですが、決してこれが最終ゴールではありません。ひとりひとりの患者様と誠実に向き合い、義肢装具士としての“人間力”を身につけることこそが、私たちが目指す実践教育です。



資格取得までのプロセス



知識と技術を義肢装具に具現化し、“患者さんに未来を提案する仕事”です。

近年のリハビリテーション医学の進歩に伴い、治療に必要な専門領域は細分化され、いま医療現場では高度な知識と技術を持った義肢装具士が求められています。また、義肢装具の使用者のニーズも多様化しており、治療や日常生活の場面だけでなく、スポーツやレクリエーションなどにもその利用の幅は広がっています。障害を持つ方のQOL（生活の質）が求められている現代において、義肢装具士はまさにその鍵を握る医療職であると言えます。知識と技術を義肢装具というモノに具現化し、患者さんの社会復帰をサポートすることは、義肢装具士が患者さんに新しい未来を提案することにもつながっています。義肢装具学科を志望される皆さんには、この仕事の魅力を理解し、医療現場で即戦力となる義肢装具士を目指して入学されることを期待しています。

義肢装具学科 教務主任 **中川三吉先生**

Teacher's VOICE



学科の特色

義肢装具学科は、開学以来、長年にわたって国家試験合格率、就職率ともに優秀な成績をおさめています。経験と実績に基づいたカリキュラム編成と、めまぐるしい進歩を遂げている義肢装具の世界の動向を積極的に講義に導入し、常に最新の義肢装具を実際に手にとって学べる環境が整っています。義肢装具に関連する学会への参加を通し、義肢装具士を志す学生としての見聞を広め、自ら進むべき専門性を高めることにも積極的に取り組んでいます。

また、全国各地で活躍する卒業生には、臨床実習や就職先の選択において、信頼できるアドバイザーとして協力頂いています。



日本一多い 卒業生のネットワーク

これまでに義肢装具学科を卒業したOBは600名を越えています。この卒業生の人数は、全国にある義肢装具士養成校の中で最も多く、OBが全国各地で義肢装具士として活躍しています。卒業生が多いということは臨床実習や就職などあらゆる場面でOBの協力が得られます。これから義肢装具士を目指す皆さんにとって、「心強いサポーター」がたくさんいるということは大きなメリットです！

全国に多くの臨床実習施設

全国に約100施設の臨床実習施設を持っています！ですから、2、3年次の臨床実習では、自分が集中的に学びたい分野に合わせて実習施設を選ぶことができます。また、実習施設では本学科のOBがたくさん活躍していますので、本校のOBから直接指導を受けることができます。この他、出身地に近い施設での実習実施も可能です！



臨床のスペシャリストによる講義

本学科では、学外から各分野の「臨床のスペシャリスト」を招いて特別講義を行っています。義肢装具士に求められるスキルや臨床における役割といった職業倫理のほか、本校独自の実習カリキュラムとして、「筋電義手」の製作実習など、義肢装具士としての幅広い視野を養うための特別講義を実施しています。



臨床のニーズに即した 充実の製作実習

義肢装具を製作するための最新の工作機械をドイツから導入し、安全で高度な製作実習ができる設備を整え、臨床のニーズに応えるために、整形靴の製作実習を本格的に行っています。学生それぞれがお互いの足の型を採って、木型から製甲、仕上げまで全て製作します。卒業時には健常者や障害者の足を問わず、「靴を作る技術」を身につけることが可能です。



科目紹介

スポーツ用下腿義足 製作実習

授業内容

障害者スポーツの社会的なニーズの高まりを受け、国内の義肢装具士養成校に先駆けて、「スポーツ用義足」の製作実習を導入しています。実際の義足使用者をモデルに、切断端の評価・採型・製作・適合まで学生が行い、卒業時には義肢装具士として義足使用者のさまざまなニーズに対応できる技術を習得することが可能です！



自作の
スポーツ義足で
走ってもらえる
喜び!!

Student's
VOICE

患者さんに頼りにしてもらえる義肢装具士を目指して

義肢装具士を目指そうと思ったのは高校2年生のときでした。テレビ番組で、身体が不自由な方が快適に生活を送ることができるよう、心を込めて義肢や装具を製作する義肢装具士の姿を見たことがきっかけでした。「人の役に立つことを仕事にしたい」と漠然と考えていた私には、義肢装具士はまさに自分の夢をかなえられる職業だと思い、日本聴能言語福祉学院を受験しました。

入学して最初に感じたことは、この学校では国家資格を取ることが最終目的ではなく、医療現場で本当に活躍できる義肢装具士になることが何よりも大切だということでした。また、義肢装具学科では先輩と後輩のつながりをとても大切にしていると感じます。

現在私は義足に興味を持って勉強しています。義足は、身体と直接接触するソケット、関節を代償する継手、力を地面に伝える足部、それらを接続するパイプにより構成されています。特にソケットは、体重を支持する役割を持っているため、身体に適合していないと痛みの原因になってしまいます。ですので、使用する方々に合わせて製作する必要があります。義足の製作は、いわゆる職人的な勤やセンスだけではなく、医学的・科学的根拠に基づいており、一つひとつ理論立てて考えながら行う必要があります。簡単なことではありませんが、これがとても面白いと感じています。患者さんに頼りにしてもらえる義肢装具士を目指して、しっかり授業に取り組んでいきたいと思っています。

朝比奈拓未さん 愛知県立江南高等学校 卒



カリキュラム

「モノづくり」の技術を習得するための実技の習得にたっぷりの時間を割いているのが特徴です。基礎科目では、人文科学・社会科学・自然科学といった一般教養。専門基礎科目では、医学・工学。専門科目では、製作・適合実習や臨床実習、卒業研究などバラエティーに富んだカリキュラム構成になっています。



		1 年 次	2 年 次	3 年 次
基礎科目	科学的思考の基礎 ・人間と生活	心理学 倫理学 物理学 生物学 数理統計学	外国語 美術	卒業研究
	人体の構造と機能 及び心身の発達	解剖学 人間発達学 生理学 運動学 機能解剖学		
専門基礎分野	疾病と病気の成り立ち 及び回復過程	医学概論 臨床心理学	臨床神経学 整形外科	病理学概論
	保健医療福祉と リハビリテーション	公衆衛生学	リハビリテーション医学	理学療法学 作業療法学 社会福祉学 関係法規
	義肢装具領域に おける工学	図学製図学 電子計算機演習 義肢装具材料学 義肢装具材料力学	機構学	システム制御工学
専門分野	基礎義肢装具学	義肢装具学概論 義肢装具基本工作論（実習） 体幹装具概論Ⅰ	下肢装具概論 義手概論 義足概論Ⅰ 義足概論Ⅱ	体幹装具概論Ⅱ 義足概論Ⅲ 座位保持装置 上肢装具概論
	応用義肢装具学	体幹装具（実習）	下腿義足Ⅰ（実習） 下腿義足Ⅱ（実習） 前腕義手（実習） 上腕義手（実習） 下肢装具Ⅰ（実習） 下肢装具Ⅱ（実習） 下肢装具Ⅲ（実習）	大腿義足（実習） 上肢装具（実習）
	臨床実習		臨床実習Ⅰ	臨床実習Ⅱ

在校生、OB、OG のコメントが読めるホームページはこちら



パソコンからは で

スマートフォンからは QR コードを読み取り





現場を知り、実践力を養うのが学外実習。
本学院では、特に実習を重視し、濃密な現場体験ができます。

特徴 1

信頼関係の上に成り立つ、質の高い実習

本学院では、長年築き上げた実習先との関係を大切にしています。どのような内容の指導が受けられるのかを把握していますし、実習先にも学院の指導を把握していただき、そこには強い信頼関係が成り立っています。実習先を見ればその学校の実力が分かるとも言われ、本学院ではただ「こなせばいい」のではない、質の高い実習を行っています。

特徴 2

実習先が豊富で、安心して実習に臨めます

全国各地に多数の実習先を確保しています。その中には卒業生が在籍している病院や施設も多く、十分な指導のもと実践力を養っています。現場での実習指導は大変な仕事です。「十分な教育を受けているこの学院の学生なら」という信頼感が実習受け入れにつながっています。

特徴 3

通学事情、個性、希望などを考慮して実習先を決定

各自の通学事情、個性、希望（例えば、子どもの施設への就職希望の場合、小児施設で実習）などを考慮して実習先を決定します。実習先は全国各地にあるため、東海エリア出身以外の学生でも出身地域での実習が可能です。



・学生にピッタリの実習先を指導します。

特徴 4

無理のない段階設定

聴能言語学科 / 補聴言語学科

実習に合わせて学内での学習が進行しますので、無理なく実習に臨める構成になっています。実習内容も段階的に進行し、観察から評価、訓練へとスモールステップで進む設定になっていますので、安心です。

特徴 5

総合的な実習内容

聴能言語学科 / 補聴言語学科

各実習の目的に見合った実習期間で、複数の特徴の違う施設において、それぞれ経験することにより、知識や技術の偏りを防ぎ、言語聴覚士として必要な能力を総合的に獲得できます。つまり本学院の実習では、どこに就職しても即戦力となり得る力を身につけることができます。なお、見学実習と聴覚検査実習は、指定時間数に加えて実施する実習で、本学院独自のカリキュラムです。

特徴 6

数多くの専門分野を持った実習施設

義肢装具学科

義肢装具学科は全国に約 100 施設の臨床実習施設を持っています。ですから、2・3 年次の臨床実習では、自分が集中的に学びたい分野に合わせて実習施設を選ぶことができます。また、実習施設では本学院の卒業生がたくさん活躍していますので、指導者として先輩から直接指導を受けることができます。

特徴 7

個人交渉不要

実習先は、すべて学院が探しますので、個人で探していただく必要はありません。

聴能言語学科の実習ステップ

1年次 2、3月

2年次 4月～11月

2年次 6月～11月



言語聴覚士の業務を知り、観察力を養うことを目的としています。全員が小児と成人の病院・施設 1 か所ずつで行う初めての学外実習です。

学院教員の指導の下、小グループで 1 症例担当し、検査から訓練まで実践します。

実際に患者様の担当言語聴覚士として検査から訓練まで臨床の流れを全て実践で身につけます。2 病院・施設で各 6 週間実施します。実習施設は小児専門の施設や総合病院・回復期の病院などさまざまです。

耳鼻咽喉科で実際の聴覚検査を実施する本学院独自の实習です。

補聴言語学科の実習ステップ

2年次 8月

2年次 2月

3年次 4月～11月

3年次 6月～11月



言語聴覚士の業務を知り、観察力を養うことを目的としています。

実際に検査を実施し、評価法を学びます。

小グループで 1 症例担当し、評価から訓練まで実践します。

評価から訓練まで、臨床の流れを全て実践で身につけます。

耳鼻咽喉科で実際の聴覚検査を実施する本学院独自の实習です。

義肢装具学科の実習ステップ

1年次 6月～10月

全学年

2・3年次

2年次 8月～9月

3年次 6月～7月



愛知県内にある義肢装具製作会社で義肢装具士が働く現場を見学します。

学生同士の型を採り合っ、実際の装具や靴を製作から製作、適合までを実習します。

実際の義肢装具ユーザーを招いて、各々が担当し採型から製作、適合までを実習します。

2年次は 6 週間、3年次は 8 週間、臨床実習として実施します。東海地区だけでなく、全国各地の義肢装具製作施設で行ないます。

就職先

聴能言語学科・補聴言語学科

主な就職先（一部）

〈北海道・東北〉	〈北陸・甲信越〉	
旭川肢体不自由児総合医療センター	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	相澤病院
中村記念南病院	黒部市民病院	波田総合病院
北海道医療大学病院	富山労災病院	鹿教湯病院
岩手県立大東病院	水見市民病院	富士見高原病院
岩手県立胆沢病院	市立砺波総合病院	更埴中央病院
仙台東脳神経外科病院	長野県立阿南病院	佐久総合病院
仙台市発達相談支援センター	富山県高志通園センター	瀨口脳神経外科病院
仙台医療福祉専門学校	泉ヶ丘病院	とやの中央病院
秋田医療センター	諏訪中央病院	米山爽風苑
	諏訪共立病院	一宮温泉病院
	飯田市立病院	甲府城南病院
		やわめメディカルセンター
		城北病院
		山中温泉医療センター
		芳珠記念病院
		恵寿総合病院
		山梨温泉病院
		山梨リハビリテーション病院
		湯村温泉病院
		公立小浜病院
		金沢脳神経外科病院

〈関東〉			
東京都済生会中央病院	湘南鎌倉総合病院	箱根仙石原温泉病院	川越リハビリテーション病院
東京都老人医療センター	平塚共済病院	鶴巻温泉病院	埼玉医科大学病院
都立駒込病院	海老名総合病院	横浜市職員	川口市立医療センター
順天堂東京江東高齢者医療センター	茅ヶ崎徳洲会総合病院	麻生リハビリテーション病院	沼田脳神経外科循環器科病院
柳原リハビリテーション病院	さがみリハビリテーション病院	千葉中央メディカルセンター	日高病院
河北総合病院	会田記念病院	市川市リハビリテーション病院	目白大学
東大和病院	茨城県立医療大学付属病院	みつわ台総合病院	みどり野リハビリテーション病院
横須賀市立市民病院	筑波メディカルセンター病院	千葉西総合病院	小田原市立病院
大和市立病院	国立病院機構東埼玉病院	亀田総合病院	
茅ヶ崎市立病院	埼玉県総合リハビリテーションセンター	浦安市総合福祉センター	
横浜市脳血管医療センター	大宮市心身障害総合センター	深谷赤十字病院	

〈東海〉			
愛知医科大学病院	名古屋市立大学病院	岐阜県立ひまわりの丘	鈴鹿中央総合病院
J A 愛知厚生連 海南病院	名古屋大学医学部附属病院	中津川市民病院	済生会明和病院
J A 愛知厚生連 江南厚生病院	名古屋市長合リハビリテーションセンター	岐阜県立多治見病院	ヨナハ総合病院
J A 愛知厚生連 豊田厚生病院	名古屋児童福祉センター	土岐市立総合病院	かとう小児科
J A 愛知厚生連 渥美病院	名古屋徳洲会総合病院	羽島市民病院	伊勢赤十字病院
J A 愛知厚生連 知多厚生病院	名古屋第一赤十字病院	岐阜県総合医療センター	静岡市立清水病院
J A 愛知厚生連 安城更生病院	名古屋第二赤十字病院	松波総合病院	農協共済中伊豆リハビリテーションセンター
あいち小児保健医療総合センター	常滑市民病院	掛川市立総合病院	掛川市立総合病院
愛知県青い鳥医療福祉センター	津島市民病院	岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター	静岡済生会総合病院
愛知県済生会リハビリテーション病院	半田市立半田病院	高山赤十字病院	リハビリテーション中伊豆温泉病院
岡崎市民病院	藤田医科大学病院	岩砂病院	常葉リハビリテーション病院
春日井市民病院	碧南市民病院	東海中央病院	静岡県立こども病院
刈谷豊田総合病院	愛知県心身障害児療育センター第二青い鳥学園	朝日大学病院	新富士病院
国立長寿医療研究センター	偕行会リハビリテーション病院	藤枝市立病院	藤枝市立病院
国立病院機構名古屋医療センター	関谷耳鼻咽喉科	博愛会病院	藤枝市教育委員会
国立病院機構 東名古屋病院	鵜飼病院	愛生病院	めばえ外来療育センター
小牧市民病院	鵜飼リハビリテーション病院	新生病院	熱海所記念病院
中部労災病院	第二成田記念病院	城山病院	総合病院 聖隷浜松病院
豊川市民病院	東海市立あすなろ学園	四日市市立あけぼの学園	静岡県立総合病院
豊田市こども発達センター	J A 岐阜厚生連 岐北厚生病院	桑名市療育センター	伊豆医療福祉センター
豊橋市職員	J A 岐阜厚生連 久美愛厚生病院	三重県立子ども心身発達医療センター	浜松市社会福祉事業団
豊橋市民病院	J A 岐阜厚生連 西美濃厚生病院	小山田記念温泉病院	磐田市立総合病院
トヨタ記念病院	J A 岐阜厚生連 中濃厚生病院	松阪中央総合病院	浜松市リハビリテーション病院

〈関西〉			
近畿大学医学部附属病院	城東中央病院	兵庫県立聴覚障害者情報センター	南紀療育園
大阪市立大学医学部附属病院	高槻病院	京都きづ川病院	北出病院
淀川キリスト病院	平成記念病院	第二岡本総合病院	富田病院
ポハース記念病院	西大和リハビリテーション病院	花ノ木医療福祉センター	新宮市立医療センター
門真市立くすのき園	関西総合リハビリテーション専門学校	大津市ことばの教室	大阪保健医療大学
大阪リハビリテーション専門学校	姫路市総合福祉通園センター	彦根中央病院	姫路獨協大学
北大阪警察病院	神戸市立ひばり学園	近江温泉病院	公立八鹿病院
医誠会病院	兵庫県立総合リハビリテーションセンター中央病院	白浜はまゆう病院	
大阪医科大学病院	兵庫医科大学	ヴォーリス記念病院	

〈中国〉		〈四国〉	
県立広島病院	福山第一病院	香川労災病院	高知リハビリテーション学院
中国労災病院	津山中央病院	深田記念会松井病院	内田脳神経外科
広島市社会福祉事業団	岡山県立大学	回生病院	鴨島病院
J A 尾道総合病院	藤本耳鼻咽喉科クリニック	旭川湘南愛媛病院	水野脳神経外科病院
広島県立身体障害者リハビリテーションセンター	博愛病院	真綱代くじらリハビリテーション病院	宇高耳鼻咽喉科医院
井の口病院	千鳥ヶ丘病院	伊予病院	
梶川病院	益田赤十字病院		
山崎病院			

〈九州・沖縄〉			
福岡リハビリテーション病院	熊本県こども総合医療センター	農協共済 別府リハビリテーションセンター	耀光病院
柳川リハビリテーション学院	熊本機能病院	市民の森病院	沖縄リハビリテーションセンター病院
香椎原病院	大分医師会立 アルメイダ病院	延岡リハビリテーション病院	嶺井第一病院
菊南病院	大分リハビリテーション専門学校	金丸脳神経外科病院	ちゅうざん病院
熊本セントラル病院	湯布院厚生年金病院	佐世保中央病院	大浜第一病院

義肢装具学科

主な就職先（一部）

〈北海道・東北〉		〈北陸・甲信越〉	
(株)札幌義肢製作所	(株)佐々木義肢製作所	(株)長谷川義肢製作所	福井メディカル株式会社
(有)野坂義肢製作所	(株)佐々木義肢製作所弘前支店	(株)新潟義肢製作所	(株)富山県義肢製作所
(株)馬場義肢製作所	(株)佐々木義肢製作所秋田支店	(株)田村義肢製作所	川村義肢株式会社山梨営業所
(株)田村義肢製作所	(有)エムサポート	新潟医療福祉大学	(株)古瀬義肢製作所
(有)三愛義肢製作所	(株)山形義肢研究所	(株)丸山義肢製作所	(株)北信義肢工業所
(株)高田義肢製作所	東北厚生興業株式会社	ホクリク義肢(株)	(株)松本義肢製作所長野営業所
(株)森口義肢製作所	(株)ギソックス	(株)金沢義肢製作所	長野県立総合リハビリテーションセンター
(株)北海道厚生義肢製作所	(株)アングル	(株)奥義肢製作所	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院
北海道科学大学	(株)東北補装具製作所	(株)済世館	(株)中倍ブレイス
(株)千秋義肢製作所	(社)福)福島厚生義肢製作所		

〈関東〉			
(株)大栄製作所	足と靴の研究所	東名ブレース株式会社関東支店	(株)高崎義肢
(株)森義肢製作所	(財)鉄道弘済会義肢装具サポートセンター	東名ブレース株式会社武蔵野支店	(株)幸和義肢研究所
(株)エヌ・オー・ティ	(株)田沢製作所	(株)木村義肢工作研究所	協和義肢工業株式会社
芦川義肢製作所	アルケア株式会社	(株)ヤスタ・ブレース	日本赤十字社千葉県支部義肢製作所
(株)香取義肢	西武学園医学技術専門学校	三浦医工デザイン株式会社	(株)ニッコウ
オットーボック・ジャパン株式会社	川村義肢株式会社東京本社	(株)伸正商会	(株)北信義肢
(株)内藤義肢製作所	(株)湘南義肢研究所	埼玉県総合リハビリテーションセンター	国立障害者リハビリテーションセンター
(株)前橋義肢製作所	(株)ユウジン社	啓愛義肢材料販売株式会社	(株)シュリット

〈東海〉			
(株)アルテックブレース	(株)中部義肢	(株)和光義肢製作所	(株)四日市義肢製作所
ビーオーワークスアシスト(株)	(株)三協義肢	名古屋市長合リハビリテーションセンター	(株)三重義肢製作所
(株)船戸義肢製作所	(株)グローバル・ブレイス	(株)愛豊義肢	(株)松本義肢製作所静岡営業所
(株)尾張義肢製作所	足と靴の科学研究所	名古屋掖済会病院	東名ブレース株式会社静岡支店
東名ブレース株式会社	(株)小栗義肢	専門学校日本聴能言語福祉学院	(株)テラダ義肢製作所
(株)東海ブレース	(株)松本義肢製作所	J A 愛知厚生連 海南病院	(株)浜松義肢製作所
(株)渡辺義肢製作所	(株)フットマインド	(株)ブレースファクトリー	(株)大川原整形器械製作所
(株)戸田義肢製作所	(株)酒井義肢製作所	(株)長良義肢製作所	(株)朝日義肢製作所
(株)稲垣義肢	(株)愛北義肢製作所	(株)協和義肢製作所	(株)もりや義肢
(株)愛知ブレース	(株)今仙技術研究所	(株)名光ブレース	

〈関西〉			
(株)西川義肢製作所	(株)平井義肢製作所	(株)富金原義肢	青木義肢製作所
森田義肢製作所	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	岸和田義肢製作所	(株)えびす義肢
日本フットケアサービス株式会社	(株)アシックススポーツ工学研究所	オリエンタル義肢株式会社	(株)澤村義肢製作所
(株)大井製作所	神戸医療福祉専門学校三田校	(株)エムティ・ブレイス	鈴木義肢装具(株)
(株)洛北義肢	(株)近畿義肢製作所	(株)永野義肢	
川村義肢株式会社京都営業所	川村義肢株式会社	(株)バンキフ	
(株)ビー・オー・テック	(株)中元義肢	(株)大床義肢	

〈四国〉	〈中国〉	〈九州・沖縄〉	
(株)愛媛義肢製作所	(株)大坪義肢製作所	(株)徳田義肢製作所	(株)長崎かなえ
(株)高松義肢製作所松山支店	橋本義肢製作株式会社	(株)有菌製作所	(株)砂田義肢製作所
(株)オルソ本田	出雲義肢製作所	(株)マキタ義肢製作所	(株)ハート義肢
安藤義肢製作所	(株)武田義肢装具製作所	(株)佐賀有菌義肢製作所	(株)佐喜真義肢
(株)かなへ義肢製作所	(株)中国義肢		
(株)かなへ義肢製作所高知支店	中村ブレイス株式会社		
(株)小豆澤整形器具製作所高知支店			
(株)高松義肢製作所			

〈進学〉	海外【実績】	〈海外〉
国内【実績】		青年海外協力隊【実績】
名古屋大学大学院	アメリカ(義肢装具製作施設)	ザンビア
大阪体育大学	イギリス(靴専門の大学)	モロッコ
筑波大学大学院	ドイツ(整形外科靴マイスター養成所)	エジプト
名古屋工業大学	オーストラリア(義肢装具の大学) など	タイ など
日本大学		
日本福祉大学		
中部リハビリテーション専門学校(夜間部) など		



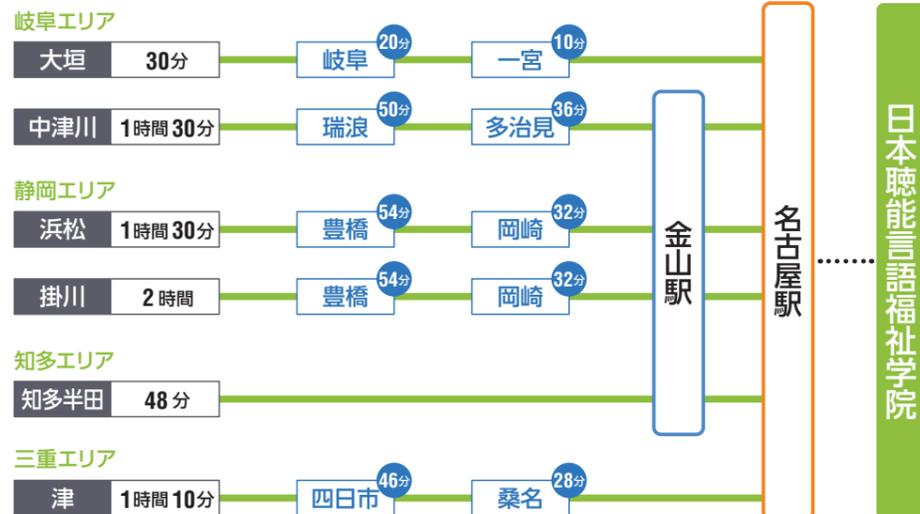
都会の真ん中にある便利さ 通学にもひとり暮らしにも最適の環境

本学院は、名古屋駅から徒歩でも12分。また、地下鉄を利用すれば名古屋駅から乗車時間約1分で学院近くの最寄り駅(地下鉄桜通線中村区役所駅)に到着します。この駅から学院までは徒歩1分です。授業開始時刻が9時30分からとゆったりしていますので、遠方から通学する学生もいます。また、学院の周辺にはワンルームマンションもたくさんありますので、学生がひとり暮らしをするにはとても住みやすい環境です。

名古屋からはじまる充実のキャンパスライフ

🕒 名古屋駅までの所要時間の目安

(※ 本校へ名古屋駅から徒歩12分、地下鉄中村区役所駅から徒歩1分)



あなたを最高のコ・メディカルに 育てるための施設が揃っています



■ 教室



■ 防音室



■ 臨床実習室(小児)



■ 機械実習室



■ 適合実習室



■ 製作実習室



■ コンピュータ室



■ 図書室



■ 学生談話室

ともに学び、ともに悩み、ともに笑う… そんな仲間たちとの出会いを、そして明るい未来を全力でサポートします。

奨学金について

本学院では、人物、学業ともに優れた学生を経済的にバックアップするため、各種奨学金を取扱っています。

①日本学生支援機構

	第1種奨学金	第2種奨学金
利息	無利息	年3%を上限とする利息
貸与月額	自宅通学 5.3万円 2、3、4万円から選択 自宅外通学 6万円 2、3、4、5万円から選択	2～12万円までの 1万円単位の金額から選択
貸与期間	在学期間(最大)	
返済期間	卒業後20年(最長)	
募集期間	4月上旬頃から募集予定(家計急変、災害等は相談)	

②各種育英団体による奨学金

民間育英団体や地方公共団体による奨学金制度の概要は、次表のとおりです。詳細につきましては、それぞれの実施機関にお尋ねください。

実施機関	採用条件、資格等	貸与額	問合せ先
財団法人 交通遺児育英会	保護者が交通事故で死亡等による修学困難	月額4、5、6万円から選択無利子 [入学後一時金] 40、60、80万円から選択無利子	奨学課 03-3556-0773 0120-521286
あしなが育英会	保護者の雇災等による修学困難、家計基準	月額40,000円無利子 (専修学校の場合は高校奨学生だった人が対象)	業務課 03-3221-0888
都道府県 社会福祉協議会	非課税世帯相当	生活福祉資金(教育支援資金)貸付 (就学支度費)無利子 入学金相当 50万円以内 (修学資金)無利子 月額最大9.75万円(大学の場合) (機構の奨学金優先、不足する場合のみ上乗せ利用可)	お住まいの 市区町村の 社会福祉協議会等
都道府県等	母子・父子家庭等	[母子父子寡婦福祉資金貸付金] (就学支度費)無利子 入学金相当 37万～59万円以内 (修学資金)無利子 月額6.75万～9.6万円以内	お住まいの都道府県・ 指定都市・中核市の 福祉担当部局

③国の教育ローン

	内 容
利率	年1.65%(2022年4月1日現在)※変動あり
融資金額	350万円以内(学生1名につき)
返済期間	15年以内(交通遺児家庭、母子家庭、父子家庭、世帯年収200万円(所得122万円)以内の方 または子ども3人以上の世帯かつ世帯年収500万円(所得346万円)以内の方は18年以内)
詳細	教育ローンコールセンター Tel. 0570-008656 (月～金 9:00～21:00、土 9:00～17:00)

一人暮らしの応援

学生向けマンションを探す学生のために、不動産管理会社のパンフレットを用意しています。実績ある不動産管理会社の情報提供をしているので、安心です。

また、本学院で行われるオープンキャンパスでマンション情報を得ることもできます。

健康管理(保健室、鵜飼病院)

学生の体調不良や病気、怪我をしてしまった場合、校医による処置はもとより、珪山グループの鵜飼病院での治療が受けられます。また、鵜飼病院に受診をする場合、本学院の学生は、初診費用が免除される特典があります。

Q 医療・福祉の分野を全く学んだことがありませんが、講義や実習についていけますか？

A 入学される方の多くが医療・福祉の分野を学んだことのない方です。入学前の理系・文系の経歴を問わない、基礎からの分かりやすい講義が進みますので心配いりません。また、義肢装具学科には工学系の科目もありますが、各分野専門のエキスパートの先生方を招いて分かりやすい丁寧な授業を行っています。

Q 就職の際、年齢がハンデになることがありますか？

A 公的な病院や施設では、採用条件に年齢制限を設けているところも確かにありますが、40代で就職した卒業生もいます。もちろん地域など条件をつければそれだけ難しくなりますが、社会経験がプラスになる場合もありますので、国家資格を取得すれば就職は充分可能です。

Q アルバイトはできますか？

A 学業に支障のない範囲であればよいと考えます。学内での活動が多い1年次であれば比較的余裕があり、名古屋駅周辺や学院の近くでアルバイトをする学生もいますが、実習や国家試験対策が始まるとアルバイトに割ける時間は少なくなります。夏休みなどの長期休暇を利用して短期集中でアルバイトをしている学生も多いようです。

Q 何歳くらいの学生が多いですか？

A **聴能**：大学新卒の学生は50～60%程度、他は社会人経験者で20～30代の学生が多いです。しかし最近では、40代・50代の学生も珍しくなく、卒業後は皆、言語聴覚士として活躍しています。

補聴：高校新卒の学生が約70%。他は短大卒や社会人経験者で20代前半～30代前半がほとんどです。なかには40代の学生もいます。

義肢：クラスの大半が高校新卒の学生ですが、大卒者や社会人経験者もいます。男女比は約7:3で男子が多いです。近年、臨床現場からは女性の義肢装具士を望む声も高まっています。

Q 授業料以外に必要な経費はありますか？

A 教科書、白衣等は学生の個人購入となり、これらの代金は授業料には含まれておりません。詳細につきましては、各学科にお問い合わせ下さい。

Q 入学試験の対策はありますか？

A それぞれの学科で試験内容が異なります。詳細は過去問題やオープンキャンパスにお越しいただいた際にお伝えしていますので、積極的に参加して情報収集していただければと思います。



R o o d t o I n d e p e n d e n c e



学校法人珪山学園
専門学校

日本聴能言語福祉学院

〒453-0023 名古屋市中村区若宮町2丁目14番地

☎ 0120-112-436

URL <https://ncg.kzan.jp/>

E-mail ncg-office@kzan.jp

※資料請求はホームページからもできます。



<https://ncg.kzan.jp/sp>

医療法人 珪山会 <https://kzan.jp/> (グループホームページ)



LINE 公式アカウント

ID 検索または QR コードから友だち追加してね!

聴能言語学科

@005enibu



補聴言語学科

@703naiqb



義肢装具学科

@702lzsdt

